

地域社会の要請と自分たちがやりたいことを、上手に重ねていこう。

「今後の日本の道行きは厳しい」という風潮があっても、自分たちの国を、自分たちが住みやすいように、自分たちで守っていかなければならないというプラスの雰囲気があることを感じている。(⑤米良)

この10年くらい非営利組織の議論として、参加した方が公共的な役割などを実感し、1人の市民や有権者として成長していく場という「市民性」についてはあまりなかった。課題解決は一生懸命だが、参加の受け皿が弱い。活動に関わった人がどんな成長を果たしたかが大事。(⑦田中)

見返りを要求しない、何か役に立ちたいとかいう自己実現したいという気持ちは、地域のおじさん、おばさん皆にあるもの。それを社会課題の解決につなげていければ、もっと民による公とか、行政と組む課題解決につながっていくのではないかな。(⑦大臣)

Homedoor (NPO法人Homedoor)

理念：ホームレス状態を生み出さない日本にするために…

ホームレス状態になりたくないにも関わらず暮らす場所を失ってしまう人や、ホームレス状態から陥り出した人と暮らす場所がない状況。ホームレスの人々の生活が安定しなくなり、避難場所を失った人々の状態を様々な原因によって鑑み

(主な取組)

■ 軽費支援事業

HUBchari
自転車 × ホームレス 問題 = HUB chari
生活保護

ホームレス、生活保護問題の解決を目指すだけでなく、自転車のシェアリングによる自転車問題の解決も同時に目指す。

単に支援される側から、自転車問題を解決する側 (= 支援する側) への転換

(注) NPO法人Homedoor 代表理事 藤巻浩志



(4bunno3.com)

理念：人こそ最大最高の資産であると言えて社会を創る

「あらゆる人に価値がある」がコンセプト。
100%を追求しすぎない3/4 (まんぶんのさん) の感覚。1日8時間働けば7割は社会的価値が生まれると信じている。誰かがある方式の才能や能力が社会の価値に反映できる仕組み、活動モデルを構築。

(主な取組)

4bunno3 BAG



業 材の 3/4 = 寄付された廃材の再利用
製造工程の 3/4 = 社会的弱者の方が担当
利益の 3/4 = 会社の利益、残りは寄付

変えるが当たり前ではない、変えなくていい社会システムを構築

TOWN KITCHEN

(株式会社タウンキッチン)

理念：自律的なコミュニティシステム

持続可能なコミュニティは「与える・与えられる」関係ではない。「つくる・つかうが一緒」参加型の持続性当たり前の文化にすることが重要。行政・民間・住居が互いに支え合ひ、地域住民が「自分ごと」として地域社会に参画できる対話・協働の場と機会を構築。

(主な取組)

地域主婦のおすそわけサービス



「地域がつながる」おすそわけ」がコンセプト。独居の高齢者や子育て世帯の食生活を豊かにするため、子育てを終えた世代の主婦が給与ではない「やりがい」を得ることを目的に家庭料理を地域に提供。

コミュニティ利用者から運営サイドへの参画。担い手不足解消という持続可能性

(注) 株式会社タウンキッチン代表取締役 藤巻浩志

atamista

(NPO法人 atamista)

理念：100年後も豊かな暮らしができるまちをつくる

～ゴーストタウンとなった街の再生。老の光景を繰り返さないために～
地域社会で活動する個人、団体に対し、事業の交流・協働を行い、地域社会を担う人材育成をし、「社会的関係資本や自営業者の増大、持続可能な地域経済、持続可能な地域社会づくり」に参画

(主な取組)

あたまマルシェ

観光客誘致ではない、地元住民・移住者をメインターゲットとした需要を刺激で始められる方の発掘。更に市街地に存在する空き店舗を利用した店舗にも敷があることを目的とした試行的マルシェ

最終目標『2030年atamista解散』。地域の自主性で持続可能な熱海を形成。

(注) NPO法人atamista代表理事 藤巻浩志

社会課題解決に向けた取組の数々
(出典:第7回懇談会 事務局資料)